

## IN THE DARK



コツ・コツ・コツ・コツ・コツ・コツ

毎夜、夫の外出後午前2時を過ぎる頃、決まって屋根裏部屋から聞こえて来る足音。時々足音は止み、部屋の天井に掛けられた大きなガス灯がふうっと暗くなる。そして又足音。不思議な古い手紙、謎めいた大きな肖像画。耳の遠い召使い。見知らぬ少年の写真。決して鍵の解かれた事の無い部屋。飾り付きの手すりどらせん階段町の不思議な噂。

こんな物語に胸をときめかせた事はありませんか？どこかで会った事があるような一枚の写真。どうしても思い出せない不思議な記憶。

不思議な屋敷の奇妙な足音、一枚の古い写真。

決して開けてはいけないと言われたドアをそっと開けてみた時不思議な写真を見つけてしまった時。ふとしたきっかけで、突然に迷いこんでしまう世界。目に浮かぶのは見たこともない風景、知らない人々の声。見知らぬ国。遠い昔。

こんな秘密を持つ物を知りませんか。ここにある古い時計やランプやトランク達は、長い長い時間を飛び越えて遠い所から旅をしてきました。そして不思議な秘密をその時間の分だけ知っています。じっと見つめていると時々そっと教えてくれるのです。不思議な長い旅の中で出会った事を。そして、私自身が忘れかけていた遠い記憶を、呼び戻してくれるのです。

## AUCTION

オークションには、人様々色々な思いが込められます。子供の頃の夢。初恋のほろ苦い思い出。祖父や祖母の面影。遠い旅。・・・謎めいた過去この不思議なミルクホールのオークションにいらっしやいませんか？オークションは、ミステリアスな空想のゲームです。ゲームに参加されたい方は、出品される品を1〜3点程御用意下さい。品物のお預りは1週間前より受け賜ります。お申込みはお早めに！

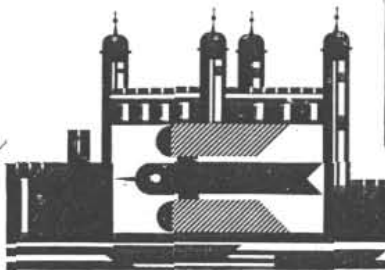


日時 3月25日(金) PM7:00より  
参加費 1500円 ONE DRINK & SNACKS  
今回のミルクホールの放出品は、蓄音機、ガラスシェード1点、トランク1点他  
★当日は、ミルクホール春の市の最終日です  
セールは、PM6:30にて全て終了致します  
お買い物の方はお早めにお越し下さい。

## INFORMATION

ミルクホール自慢のブレンドコーヒーに、4月1日よりビーナッツが付きます。というお知らせです。何故、いまだきました突然ビーナッツが付いてしまうのか、という疑問をいただける事と思っておりますので聞かれる前にお答え致します。よく昔の喫茶店では必ずコーヒーにビーナッツが付いて来ました。何故付いていたのか、昔のコーヒーはとっても苦かった。ミルクホールのコーヒーも開店以来とても苦い。そうだ、コーヒーにビーナッツを付けよう。という理由で4月1日よりミルクホールのブレンドコーヒーにはビーナッツが付きます。ミルクホールのとっても苦いブレンドコーヒーをこれからもビーナッツ付きでよろしくお願致します。

★お詫げ  
4月のミルクホール主催ダーツトーナメントは、都合により中止させて頂きます。予定が付き次第再開させて頂きますのでどうぞ御了承下さい。



Milk Hall Times 19th



## COLUMN

釣り人が川縁で正確に10メートルの距離を保っている。ここ小1時間は釣果に恵まれてないようだ。するとその時多分働であろう魚が彼らの竿の間の川面をたいた。3人の釣り人は互いに顔を見合わせ、唇の右端で笑った。ザ・マ・ア・ミ・ロ  
すぐ上の公園で子供等の遊ぶ声する。むこうの橋の上を、自動車が無表情で移動している。日役と共に釣り人が竿をたいた。俺は、このあまりにも牧歌的な光景にめまいを覚え、上着のポケットからサングラスを取り出した。もっともめまいは、先程の400m1におよぶ献血のせいであろう。ギゼンハカラダニドクデアロサイクリングロードを川の流れに沿って北に向かう。舗装路が途切れるのを避け、左に折れる。右斜め前方に、レンガ造りの倉庫らしき建物が見える。ホームベースを逆さにしたような形で、そのてっぺんのトンガリのところに赤十字が描いてある。これは明らかに廃墟であろう。こんなものは早々に取り壊して駐車場にでもしてしまえばいいのである。なにせ何の役にも立たないのだから。はき古しのパンツと一緒に、愛着は湧くがそれはやはりはき古しのパンツであって他人にとってみれば、単にゴミである。しかしたかがシミ付き、ニオイ付きであっても百年間大切に保管すれば骨董的価値をも付着させ得る。さらに三千年も経てば古代の遺産として博物館のガラスケースに珍列されるやもしれぬ。そうして考えた場合、古パンツにも存在価値が生じてくるが、これはいわゆる考え過ぎというやつだ。日々、めまぐるしい勢いで変転している現代に於いて“過ぎ”が竹く程考える事は許されない。ましてや役立たずが存在する余地などあるはずもなく、そういった類の物や人が早々に消滅しない事には新しい芽の出る隙間ができないのだ。俺はその赤十字に吸いかけのタバコをほうり込んでやった。「ザマアミロ・・・」